

消防法等施行規則の一部を改正する規則をここに公布する。

令和 7 年 1 2 月 2 3 日

小牧市長 山 下 史守朗

小牧市規則第 4 6 号

## 消防法等施行規則の一部を改正する規則

消防法等施行規則（昭和４５年小牧市規則第１４号）の一部を次のように改正する。

第４条第１項中「警報」の次に「（以下「火災警報」という。）」を加え、同条第２項中「降雪」の次に「（以下「降雨等」という。）」を加え、同条第３項中「火災に関する警報」を「火災警報」に改め、同条の次に次の２条を加える。

（林野火災注意報）

第４条の２ 条例第３５条の８の林野火災に関する注意報（以下「林野火災注意報」という。）は、毎年１月から５月までの間で、火災予防上市長が危険であると認め、かつ、気象の状況が次の各号のいずれかであるとき発表する。

（１）前３日間の合計降水量が１ミリメートル以下であつて、前３０日間の合計降水量が３０ミリメートル以下のとき。

（２）前３日間の合計降水量が１ミリメートル以下であつて、乾燥注意報が発表されたとき。

２ 前項各号の場合において、降雨等が見込まれるとき又は降雨等のときは、同項の規定は適用しない。

３ 発表した林野火災注意報は、第１項各号に該当しなくなつたとき又は火災予防上市長がその必要がないと認めたときは解除する。

（林野火災警報）

第４条の３ 林野火災の予防を目的とした火災警報（以下「林野火災警報」という。）は、次の各号のいずれにも該当するときに発令する。

（１）林野火災注意報が発表されたとき。

（２）強風注意報が発表されたとき。

（３）林野火災予防上市長が危険であると認めたとき。

２ 発令した林野火災警報は、林野火災注意報若しくは強風注意報が解除されたとき又は林野火災予防上市長がその必要がないと認めたときは解除する。

第６条第２項中「様式第３による証票の」を削る。

第７条中「き損」を「毀損」に改め、「様式第３による届出書を」を削り、「提出し」を「届け出」に改める。

第 8 条を削り、第 9 条を第 8 条とする。

第 10 条中「関係図面を添えて、様式第 4 の 2 により申請書 2 通を」を「申請書 2 通に当該認定を受けようとする場所の詳細図、付近の概要図その他必要な図書を添えて消防長に」に改め、同条を第 9 条とする。

第 10 条の 2 を削る。

第 10 条の 3 中「届出は、様式第 5 の 2 によるものとし、」を「届出には、計画届出書に」に改め、同条を第 10 条とする。

第 11 条を削る。

第 12 条第 1 項中「前条」を「条例第 50 条」に、「関係図面を添えて様式第 7 により」を「確認申請書の写し、建築物の配置図、平面図その他必要な図書を添えて、」に改め、同条を第 11 条とする。

第 13 条中「対応して掲げる次の各号の様式によるものとし、関係図面」を「対応する届出書に当該設備の設計図書」に改め、同条各号を削り、同条を第 12 条とし、同条の次に次の 1 条を加える。

(行為の届出)

第 13 条 条例第 52 条第 1 号に掲げる行為に係る届出であつて、緊急やむ得ないときは、これを口頭で行うことができる。

2 たき火については、毎年 1 月から 5 月までの期間に条例第 35 条の 8 第 3 項により指定された区域で行う場合を除いては、条例第 52 条第 1 号に掲げる行為に該当しないものとする。

第 14 条を削る。

第 14 条の 2 中「届出は、様式第 16 の 3 によるものとし、関係図書」を「届出には、<sup>とう</sup>洞道の経路図、設置されている物件の概要書、火災に対する安全管理対策書その他必要な図書」に改め、同条を第 14 条とする。

第 15 条中「届出は」を「届出には」に、「様式第 17 によるものとし、関係図面」を「貯蔵又は取扱場所の見取図」に、「様式第 18 による」を「その旨を届け出る」に改める。

第 16 条の見出し中「申請等」を「検査済証」に改め、同条第 1 項を削り、同条第 2 項中「様式第 20」を「様式第 3」に改め、同項を同条とする。

第 21 条中「この規則」を「この規則に定めるもののほか、この規則」に改め、「事項」の次に「及び必要な書類の様式」を加える。

別表中「第 9 条」を「第 8 条」に改める。

様式第 3 から様式第 19 までを削り、様式第 20 を様式第 3 とする。

附 則

この規則は、令和 8 年 1 月 1 日から施行する。